

「いつも読んでいただき、ありがとうございます。」

【住宅・店舗の設計・施工・監理】株式会社 **ミズノ** 空間設計 **ミズノ** ~1950年4月1日創業。創業76年目です。~

【会社創業より 27760日(4月1日付)】

2026年4月1日(水曜日)発行/発信236号



~建築は、建てることより育てること~

vol.230

# MIZUNO "旬感"だより

令和8年4月号

せいめい

## 清明

万事が清らかで  
生き生きとした様子

### 今月の言葉

♪夏も近づく八十八夜~♪

季節も少しずつ暖くなり、もうすぐ

美味しいお茶の季節を迎えます。

日本人の奥ゆかしさはお茶の文化にある

のではと思う一文をご紹介します。



角山栄著 “茶の世界史 緑茶の文化と紅茶の社会” より

「われわれはすべてのものを手をつかって食べる。日本人は男も女も、子供の時から二本の棒を用いて食べる」

「われわれの間では日常飲む水は、冷たく澄んだものでなくてはならない。日本人の飲むものは熱くなければならないし、その後から竹の刷毛で叩いて茶を容れることが必要とされる」

「われわれは宝石や金、銀の片を宝物とする。日本人は古い釜や、古いヒビ割れした陶器、土製の器等を宝物とする」

これは永禄五年(1562年)にイエズス会の宣教師として来日した、ポルトガル人ルイス・フロイスのユニークな文明評論『日欧文化比較』の一節である。

アジアへの航路を発見したヨーロッパ人は、ポルトガル人を先頭に、スペイン人、オランダ人、イギリス人らがあいついで日本にやってきた。ときあたかも十六世紀後半、日本国内では信長、秀吉、家康らが天下に覇を争っていたときであった。ヨーロッパ人は、かねてロコミで金・銀の豊かな国ジパングのことはきいていたが、実際その眼で見、はだでふれるのははじめてであった。

彼らが日本で発見したものはいろいろあるが、その最大のものは、じつは茶であった。いや「茶の湯」文化であったといった方がよい。ヨーロッパの歴史で茶がはじめて登場するのはこのときからである。

同じころ、ヨーロッパ人は中国において茶を知った。しかし中国の茶が彼らに与えた文化的刺激は、日本の茶ほど強烈ではなかった。というのは、彼らが日本の茶にとくに魅せられたのは「茶の湯」文化にほかならないからである。日本の喫茶の歴史のなかで、十六世紀後半は、茶事が全盛をきわめた時代である。千利休が「和敬清寂」を本義として茶道を大成し、これを町人のあいだだけではなく、新興武家社会に広げることになった時代である。ヨーロッパの宣教師が接した日本の茶とは、まさにこうした「茶の湯」であった。つまり「チャ」という奇妙な飲み物が、たんなる飲み物としてではなく、その飲み方が一種の儀礼として、不可解な宗教的神秘性と社会的論理性をもっていることに、彼らはいたく感動したのである。一服の茶を飲むのに、どうして茶室という、特別につくられた狭くて窓のない暗い部屋を使わねばならないのか。どうして日本人は、茶を飲むために、古い釜や、古いヒビ割れした陶器に万金を投じ、これをダイヤモンドやルビーのように大切にするのか。ヨーロッパ人は「茶の湯」にますます好奇心をかき立てられた。やがて彼らの好奇心は、日本文化、東洋文化への畏敬の心に変わってゆく。こうして茶は、彼らにとって東洋文化のシンボルとなった。

# 水野博旨



一株式会社ミズノ  
今年という言葉一

正「一を止める」一つの心を守り通す

### 空間設計 **ミズノ** vol.107 のデザイン記録



名古屋の人気スポットの一つ、名古屋港に面して建つ**名古屋港水族館**は南館と北館からなる大規模施設で、“海を建築で体験させる”構成が魅力です。館内の総水量は全国最大級を誇り、そのスケールが圧倒的な迫力をもたらします。北館にはイルカやシャチのパフォーマンスが行われる大プールがあり、巨大なガラス面と大スパン空間を実現する構造が見どころです。一方、南館では黒潮大水槽を中心に、連続する展示空間が回遊性の高い動線を生み出しています。いずれも建築そのものが“もうひとつの海”として感じられる迫力満点の空間です。 スケッチ・文：水野真宏



### 伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の  
高い木造物を残すための専門家

#### 春にちなんで、【貼る】or【張る】

壁紙をはる、障子をはる…建築施工には「はる」という言葉が度々登場しますが、どちらの漢字を使うのが正しいか迷うことがあります。のりや接着剤で、平面にべったりとはりつけるものは「貼る」を使います。

◆例：クロスを貼る。長尺シートを貼る。

それ以外の一面に覆うもの、ピンと広げたりのぼして施工するものは「張る」を使います。

◆例：フローリングを張る。椅子の張地を張る。

タイルはモルタル(セメント・砂・水を練り混ぜたもの)を使いますが、モルタルで下地を一面に覆い広げることから「張る」が適切で、全国タイル業協会・各タイルメーカーとも「タイル張り」で統一されています。フローリングは接着剤を使う場合もありますが、床材として面を構成する施工となるのでどんな場合でも「張る」を使います。障子はのりを使いますが、張ったことのある方はご存知だと思いますが最後に霧吹きで障子紙を濡らしてピンと張るため「張る」なのです。暗記するのではなく、このように具体的に何をどのように「はる」かイメージすると、どちらの漢字が適切かがわかります。

ちなみに建築以外だと、切手・シール・ポスターなどは「貼る」、テント・蜘蛛の巣・水や湯は「張る」です。何となく違いがわかりましたか？

この旬感だよりは  
ホームページでも  
ご覧いただけます。

株式会社ミズノ ホームページ→  
www.mizuno1950.co.jp



空間設計ミズノ ホームページ→  
www.mizuno-architects.com



一ご相談やお問い合わせはこちらへ一

0120-387-312 mizuno@mizuno1950.co.jp



一建築は、建てることより育てること一

株式会社 **ミズノ** 空間設計 **ミズノ**

一級建築士事務所

さかきばらとしのぶ さかきばらさちこ

榊原利修 & 榊原祐子

春を彩る

～深き音と歌う銀盤の出会い～

# コントラバスとピアノのコンサート



2026年 4月 25日 (土曜日)

開場 18:00 (受付開始) / 開演 18:30

(途中休憩あり。20:15頃終了予定)

◆会場: 株式会社ミズノ1階ヴィレポヌール(名古屋市港区)

※地下鉄 東海通駅1番出口より徒歩3分

◆参加費: 2000円(中学生以下無料)

■榊原利修(さかきばらとしのぶ)

セントラル愛知交響楽団コントラバス奏者・楽団長。  
愛知教育大学卒業、桐朋オーケストラアカデミー修了。チェコ・プラハコンセルヴァトワールにてチェコフィルハーモニー管弦楽団のイジー・パレンタ氏に師事。

現在愛知県立明和高校 音楽科 非常勤講師。

■榊原祐子(さかきばらさちこ)

国立音楽大学卒業、岡山大学大学院修了。  
チェコのプラハ音楽アカデミーに留学し、ヤン・パネンカ氏に師事。チェコ在住中、プラハ市立音楽学校講師を務める。ヨーロッパ各地でのラジオ局の収録やCDのリリースなども行う。

現在名古屋音楽大学講師。

▼お問合せ・お申込みはこちらの電話  
FAX・メールへご連絡下さい。

TEL:052-652-6886

FAX:052-661-0653

Mail:mizuno@mizuno1950.co.jp ↑



ふりがな		ご連絡先 TEL ( ) -
お名前		
ご住所	〒 -	
参加人数	名 (お名前)	・

Take34 駆け出し建築士の BOOKS & CINEMAS

■間取りの方程式 / 著: 飯塚豊



この本を読んで、住宅設計における間取りの考え方はいくつかの手順や法則があると思えました。例えば、敷地内の建物配置計画を決める時に、まず駐車場、次に庭、最後に家屋を配置することで間違いのない配置計画を設計できます。「方程式」という言葉の通り、設計手順や手法には再現性があり

論理的に進めていくことで心地の良い空間を設計できると知りました。一方で、敷地条件や住まい手の価値観などにより最適解が変わるところもあり、採光や風景など気持ちの良い居場所をどう取り込むか、どの動線を優先するかなど設計の奥深さを感じることもできました。もちろんこの本に書かれている間取りの考え方以外にも設計の方法は数多くあると思いますが、住宅設計の基本を学ぶ上でとても勉強になった本でした。

この本を読んで感覚だけに頼らず、根拠を持って設計することの重要性を学ぶことができ、より住宅設計をやってみたくて強く感じました。

茶のはなし



◆「どうぞお茶でも召し上がれ?」という意味で知られる禅語の『喫茶去(きつやん)』。茶室の掛け軸にもよく見られます。茶道においては、どんな人にも平等におもてなしする亭主の心と、今はただ目の前のお茶を味わう客の心を表しています。が、本来の意味は「茶を飲んで目を覚ませ」「理屈は抜きにして、茶を飲んで去れ(今に集中せよ)」という、禅僧から修行僧への叱咤の言葉だったそうです。

◆日常的に使う言葉に「茶化す」「茶々を入れる」「お茶目」など意外と多く「茶」が使われています。これらの言葉は、主に江戸時代に使われていた「ぶざける」「おどける」という意味の「茶る」という動詞が由来となっています。合点がいきますね。歌舞伎などでは滑稽な場面やセリフを「茶利」といいます。

◆先月のWBCで得点時に選手たちが行う「お茶点(た)てポーズ」が話題になりました。なぜ、お茶を「点てる」というのでしょうか? 「点てる」には「そえる、加える」という意味があり、中国の点心や点茶(抹茶を竹製の道具で攪拌して飲む)が由来となっています。WBCでさりげなく見せた日本の伝統文化、世界の方々には伝わったでしょうか。

◆こんなお茶にまつわる話をお茶請けに、ひとまず、美味しいお茶で一服しましょう!

【こけら落とし】って、どういう意味?



“こけら(柿)”は、材木を削った時に出る“削りくず”のことです。昔は劇場の屋根に瓦を使用できず、板葺き(こけら葺き)という薄い木の板(スギ・サワラ・ヒノキなど)を重ねる手法がとられていました。建物完成後に屋根や足組みに残ったこけらを払い落として、最初の公演を行ったことから、記念して行われる最初の公演や試合のことを【こけら落とし】というようになったのです。

反対に最後の公演は【千秋楽】といいます。火事が多かった江戸時代は“火”を含む“秋”を避けるため、代わりに縁起物の亀の入った“龜”が用いられて【千亀楽】と書くこともあったようです。ところで、こけら(柿)という漢字は果物の柿(かき)と似ていますが、(←左をご参照ください!)ちょっと違うので注意が必要です。パソコンやスマホの画面だと一緒に見えてしまうので、書く時は間違いないように!!

今月は瑞穂区の【パロマ瑞穂スタジアム】にてサッカーのこけら落とし試合が、7月には【MTG名古屋四季劇場】にて劇団四季のこけら落とし公演が行われます。

住宅・店舗の設計・施工・監理  
株式会社 ミズノ  
〒455-0001  
名古屋市港区七番町5丁目3番地  
Tel: 052-652-6886  
Fax: 052-661-0653  
Web: www.mizuno1950.co.jp  
Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp



◆駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。  
◆市営地下鉄 名港線 東海通駅 (1番出口より徒歩3分)

一級建築士事務所  
空間設計 ミズノ  
〒461-0025  
名古屋市東区徳川一丁目10番3号  
名古屋陶磁器会館1階103号室  
2階204号室  
Tel: 052-982-8316  
Fax: 052-982-8357



【最寄りの駅】市営地下鉄 桜通線 高岳駅・車道駅 (徒歩20分)  
【最寄りのバス停】市バス 赤塚白壁バス停 (徒歩5分)

☎ 0120-387-312

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計  
コンバージョン(用途変更) など